

## ■ 観光型 MaaS について

**MaaS とは** Mobility as a Service …“サービスとしてのモビリティ”

【定義】 様々な種類の交通サービスを需要に応じて利用できる 1 つの移動サービスに統合すること

- 解釈は様々だが、一般的に、出発地から目的地までの移動をひとつのサービスとして提供する概念
- 具体的には、複数の交通機関を一括して検索・予約・決済可能なサービス
- MaaS は都市型、地方型、観光型の 3 種類に分類される

### 1 事例調査・研究結果

本協議会の街並み・交通アクセス部会にて、「おたる新幹線まちづくりアクションプラン」で 2 次交通対策の一環として掲げた「観光型 MaaS 等の新たなモビリティサービスの提供」に向けて、事例調査・研究を進めてきた。

- ・ 実証実験止まりの事例もあり → 収益性・持続性が課題
- ・ 既存のアプリ (google マップ等) やアナログ (紙チケット等) でも、MaaS 的機能は実現可能  
→ 手段は MaaS アプリに限らず。ただし、MaaS アプリの有用性 (統合アプリの利便性、ルート提案や「お得なプラン」による周遊促進) もあると考えられる。
- ・ 導入費用は、独自アプリより既存システム活用の方が安価

新幹線の運行主体であり、観光型 MaaS の実績がある JR との連携 が現実的

### 2 本市への導入の方向性

**目指す姿**

利用者と地域の双方に  
メリットのある観光型 MaaS

**導入検討のポイント**

- 持続可能な仕組み (実施体制、費用等) であること
- ターゲット層のニーズに応じた機能の提供

ターゲット層 (仮設定)		取組の方向性	
アナログ選好		紙チケットのプランの充実等	
デジタル 選好	自らプランニングするタイプ (旅慣れた層)	既存の汎用アプリ (google マップ等) の活用策検討	既存の紙チケットのデジタル化、MaaS 登録プランのアナログ化など
	提案を求めるタイプ (あまり旅慣れていない層)	<b>既存の観光型 MaaS システムの活用</b> (効率性、実施体制、利用者確保等の面で有利) → JR 及びニセコエリア等と連携 (新幹線との親和性)	

**JR 東日本の MaaS プラットフォーム (Tabi-Connect) によるサービスの提供**

参考事例: 「Nasu-Ways」「回遊軽井沢」(新幹線駅を中心とした MaaS サービス)

裏面参照

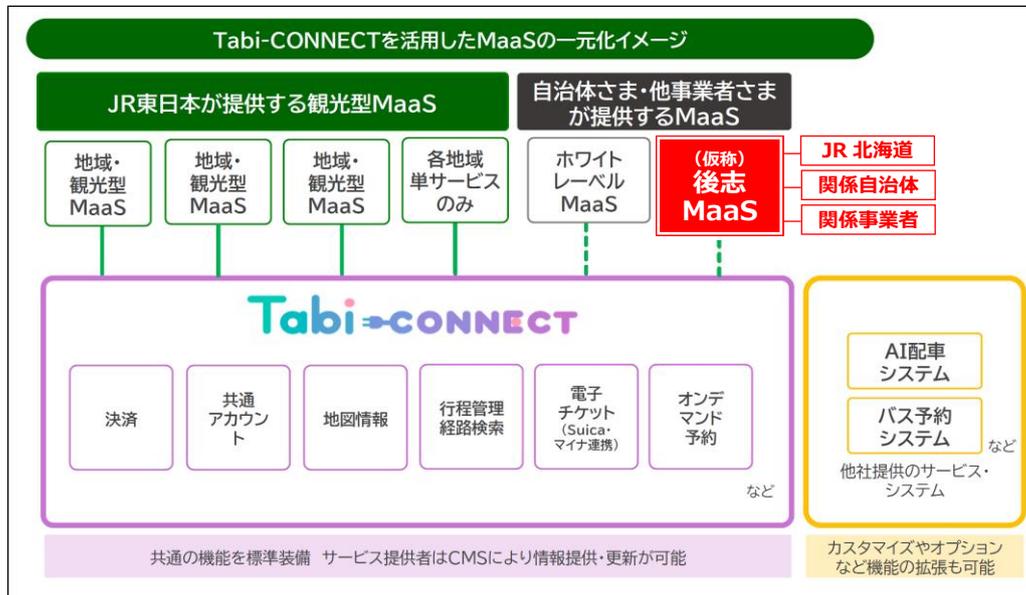
### 3 観光型 MaaS システム導入に向けた今後の取組 (汎用アプリ活用策等は別途検討)

- 実装機能の検討及び事業費の確認 (→JR との打合せ)
- 実施に向けた課題の整理 (2 次交通の確保、広域連携、決済手段の共通化等)
- 魅力的な着地型旅行商品の開発 (観光・産業振興部会と連携) ほか

# ■本市における観光型 MaaS のイメージ

## 1 サービス提供イメージ

- JR 東日本の MaaS プラットフォーム (Tabi-Connect) を活用した観光型 MaaS 「(仮称) 後志 MaaS」 に参画 (※実施体制等は今後協議)



(JR 東日本作成の資料を一部加工)

## 2 実装する機能 (案)

- 参考事例 (新幹線駅を中心とした観光型 MaaS)
  - 「Nasu-Ways」 [参考資料 1-2](#) … 東北新幹線 那須塩原駅
  - 「回遊軽井沢」 [参考資料 1-3](#) … 北陸新幹線 軽井沢駅
- 実装する機能 (案)

機能	内容
観光情報の検索	「Nasu-Ways」の機能
リアルタイム経路検索	
旅行プランニングサービス	
交通電子チケット	
観光電子チケット	
エキトマチチケット (加盟店で使える電子チケット)	
便利な機能へのリンク	
オンデマンド交通の予約機能	「回遊軽井沢」の機能
タクシー配車機能	本市アクションプランの取組に関連して必要と考えられる機能  (リンクにて対応することも考えられる)
レンタカー予約機能	
レンタサイクル予約機能	
宿泊予約機能	